

中之島香雪美術館 記念講演会

青磁と天目

—中国陶磁史研究の最前線から—

とくどめ だいすけ
徳留 大輔 さん（出光美術館主任学芸員）

日本の茶の湯で珍重されてきた天目と青磁。近年、それらを製作した窯の発掘調査が進み、様々な新知見が得られています。本講演では、中国での実地調査や、当館所蔵品をはじめとする日本に伝わった作品をふまえながら、最先端の研究成果についてお話し頂きます。

◆経歴

山口県立萩美術館・浦上記念館学芸員を経て、2015年より現職。専門は考古学・中国陶磁史。出光美術館における中国陶磁の展覧会を企画するだけでなく、中国の窯跡や遺跡の現地調査、日本国内における中国陶磁の流通に関する調査を精力的に行っている。



徳留 大輔 さん

【講師】 徳留 大輔氏（出光美術館 主任学芸員）

【日時】 2019年7月27日（土）14:00～15:30（13:30 受付開始）

【会場】 中之島会館（中之島香雪美術館と同じフロア）
大阪市北区中之島3-2-4
中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階

【参加料】 1,300円（美術館入館料含む）

【定員】 250名

応募方法

- 往復ハガキ（1枚で2名様まで応募可能）に、参加希望人数、それぞれの住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、郵送でご応募ください。返信ハガキの宛先には、代表者の住所氏名をご記入ください。応募者多数の場合は抽選となります。当選者には、返信ハガキで参加証を郵送します。
- 宛先 〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階 中之島香雪美術館 徳留 大輔 講演会係
- 応募締め切り **7月5日（金）消印有効**
- 当日、受付に参加証提示のうえ、参加料をお支払いください。入館券をお渡しします。
- 美術館は午前10時開館です。講演前の観覧も可能です。